

## 第3学年C組 道徳学習指導案

期 日 令和元年10月11日 第5校時

生徒数 男子15名 女子16名 計31名

指導者 教諭 堺澤 修

1 主題名 その子の世界、私の世界 指導内容 国際理解、国際貢献(C-18)

2 教材 「そのこ」 (出典：新しい道徳3 東京書籍)

### 3 主題設定の理由

#### (1) 道徳的価値について

今日、グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となっている。私たちは、地球規模の相互依存関係の中で生きており、我が国が、国際的な関わりを持つことなく孤立して存在することはできない。

「他国を尊重」するとは、他の地域や国々はそれぞれの文化や伝統、歴史を持っており、地域や国々の在り方、あるいはそうした地域や国々がもっている理想等を、違いは違いとして理解し、それを尊重していくことを意味している。そのことを踏まえつつ、平和は、全ての国々の万人の心の中で模索すべき道徳的課題の一つであるということを理解する必要がある。日常生活の中で社会連帯の自覚に基づき、あらゆる時と場所において協働の場を実現していく努力こそ、平和で民主的な国家及び社会を実現する根本であり、国際的視野に立って世界の平和に貢献することにつながる。人間の存在や価値について理解を深め、よりよい社会が形成されるよう人類の発展に貢献する意欲を高めることが求められる。

#### (2) 生徒の実態について

事前アンケートの結果では、「世界で起きている出来事に興味・関心がありますか？」という質問に対し、「とても興味ある・少し興味ある」と答えた生徒の割合は26%だった。興味がある内容についても政治(日韓関係・アメリカ)や地球温暖化といった日本が関わる内容ばかりで、他地域の紛争や貧困による児童労働に興味を持つ生徒はいなかった。

#### (3) 教材について

本指導内容は、2時間のユニット形式の2時間目である。1時間目(前時)では4枚の写真から「世界の子供たちを取りまく現実について考えることを通して、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を深めて」きた。

本時に扱う「そのこ」は、遠く西アフリカのガーナでカカオを収穫している「そのこ」と、日本にいる「ぼく」との日常を描いている。谷川俊太郎のシンプルながらも心打つ詩と、塚本やすしの力強い絵が胸にせまる、児童労働をテーマにした絵本である。

#### (4) 指導に当たって

「その子の世界」と「私の世界」を比較することを通して、児童労働などの国際的な問題はこれといった解決策が、すぐには見つけ出せない深刻な問題であることに気づかせたい。その上で、児童労働に従事している子供たちが安全で平和な生活を送れるようになるために、自分の行動や考え方を見直し、自分のできることについて考え始めるきっかけをつくりたい。

#### 4 本時の学習指導

##### (1) ねらい

世界の中の日本人としての自覚を持ち、世界平和に貢献しようという意欲を育む。

##### (2) 展開

段階	学習活動 (○発問 ◎主発問)	教師の活動と手だて
導入	<p>1 前時の内容を振り返る。 学習課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">貧困問題について考えよう</span></p> <p>2 資料を読む ○詩(絵)から、感じたことや考えたことは何か。</p> <p>3 特に印象に残った対比も踏まえながらまとめる。 ・ぼくが遊んでいるとき、「そのこ」は働いている。 ぼくは恵まれている。そのこがかわいそう。</p> <p>○「ちきゅうのうえにはりめぐらされた おかねのくものすにとらえられて ちょうちょのようにそのこはもがいている」とはどういう意味か。 (お金・政治や社会的圧力のために) ・自由がない。・強制的。・終わり(解決の糸口)がない。など</p>	<p>・本時の学習への意欲づけ</p> <p>・記入を促す(文章表現が難しい場合は、一言でも良い)。</p>
展開	<p>4 貧困問題に関する動画を観て、実情を把握する。</p> <p>5 事前調査をもとに「貧困の輪」をつくり、話し合う。 ・学校に行けない 技能が身につかない 健康を損なう 仕事に就けない 栄養が摂れない 収入が少ない など</p> <p>◎貧困の輪を断ち切る方法を考えよう。</p> <p>6 それぞれの流れについて、どうすれば改善できるのかを考えて話し合い、発表する。 (募金や物資を送る以外に) ・教育の無償化                      ・外国から技術者を送る ・医療の無償化                      ・外国企業の誘致 ・フェアトレードする                      など</p>	<p>・道徳的論点の気づき</p> <p>・4人グループ or 班で行う。改善の手立てが交流できるようにしっかり時間を確保する。</p> <p>・自分の中でどれが一番大事なのか意思表示をさせる。</p>
終末	<p>7 「幸せのチョコレート」と「そのこ」の動画を観る。 この学習を通して考えたこと、感じたことをAシートにまとめ発表し、シールを貼る。</p>	<p>・道徳的価値の喚起</p>

##### (3) 評価

- ・世界で起きている貧困問題に対し、改善するための自分の考えをしっかりと持っている。  
(発表内容、ワークシートの記述)